



独創技術で最先端の可能性を拓く



# (株)フェローテック (6890)

## 2001/3期 決算説明会

2001年5月

<http://www.ferrotec.co.jp/>

本資料は、01年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は01年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。



# 2001年3月末 :会社概要

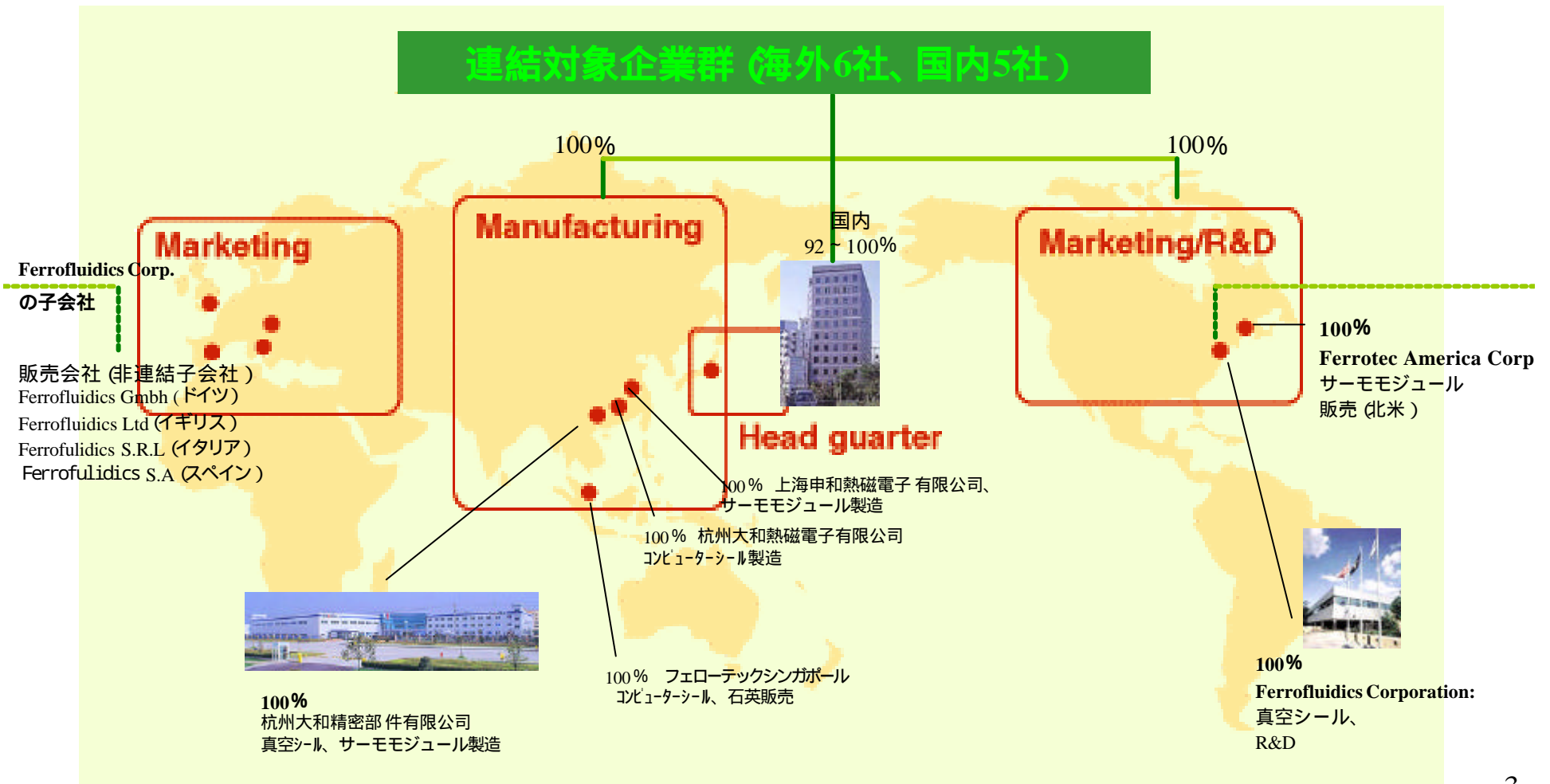
- ✍ 商号： (株)フェローテック (英訳名)Ferrotec Corporation
- ✍ 設立： 1980年9月 (店頭登録 1996年10月)
- ✍ 役員： 代表取締役 山村章 (56歳、慶大卒、ノースイースタンM.S.)  
取締役 神野公行 (社外)、椿勲 (社外)  
常勤監査役 松井宏之、非常勤監査役 2名
- ✍ 資本金： 37億51百万円 (期末発行済株式数 :12,862,287株)
- ✍ 大株主： ヴォクタ9.33%、山村6.3%、チーエス (QD)6.11%、日本トラスティサービス信託信託口5.83%、  
小松製作所4.66%
- ✍ 連結子会社：11社
- ✍ 会社沿革：



1980年 米国Ferro-Fluidics社の日本販売子会社として設立  
1987年 ヴォクタと経営陣により米国本社より全株式を取得 (MBO)、磁性流体製品のライセンス契約  
1988年 磁性流体の製造開始  
1992年 中国に中国現法設立し、サーモシールド製造開始  
1996年 店頭公開 (IPO)  
1999年 米国親会社 Ferro fluidics Corporation を 友好的TOBで買収、(株)森久製作所を買収  
**2001年 株式会社 胆沢通信を買収**  
**2001年 コマツグループとの業務提携**  
**米国アメリゴン インコーポレイテッドと業務提携**

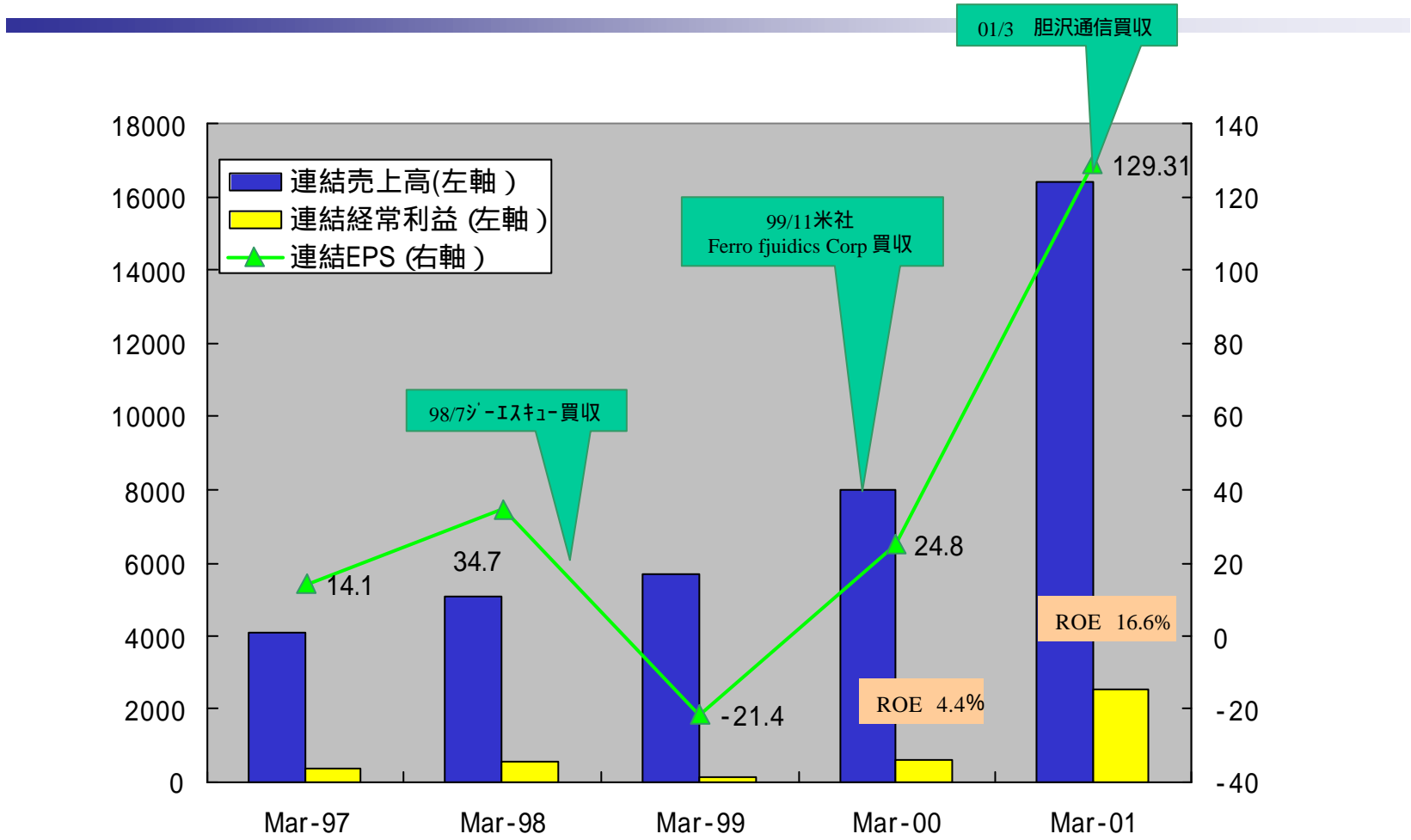


# フェローテックのグローバル展開





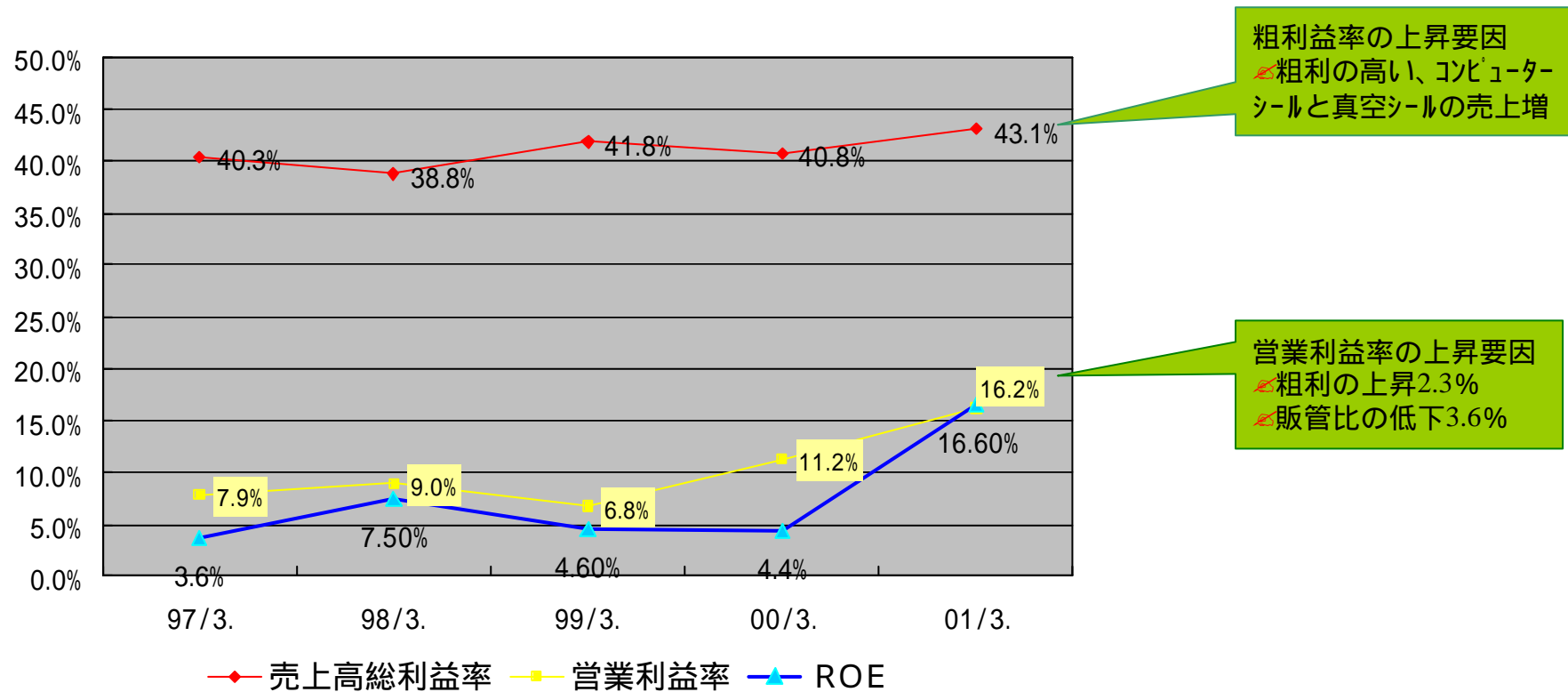
# 過去の業績 (連結)



発行株式数 (千株) : 9,055      9,085      9,100      12,670      12,862



# 主要財務指標推移





# 2001年 3月期決算 (連結P/L)

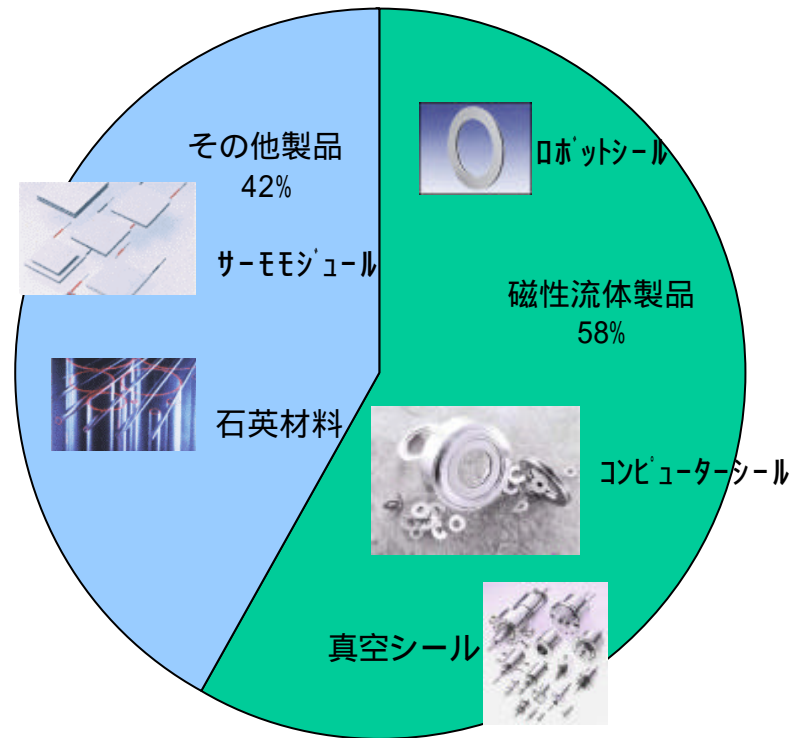
(百万円未満切捨)	00/3期	01/3期	対前年比%	内 容
<b>売上高</b>	7,988	16,435	105.7%	
<b>売上総利益</b>	3,262	7,085	117.2%	
総利益率(%)	40.8%	43.1%		
<b>販管費</b>	2,369	4,420	86.6%	
販管费率(%)	29.7%	26.9%		
<b>営業利益</b>	892	2,665	198.8%	
営業利益率(%)	11.2%	16.2%		
<b>経常利益</b>	629	2,561	307.2%	
経常利益率(%)	7.9%	15.6%		
<b>当期利益</b>	288	1,644	470.8%	
当期利益率(%)	3.6%	10.0%		
<b>EPS (円)</b>	24.85	129.31	420%	

\* 01年3月期設備投資金額 :1,645百万円 (減価償却720百万円)



# セグメント情報

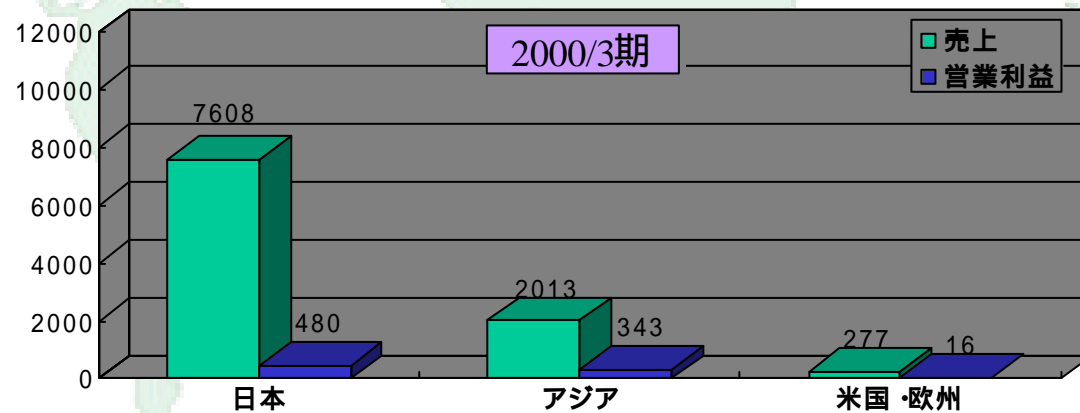
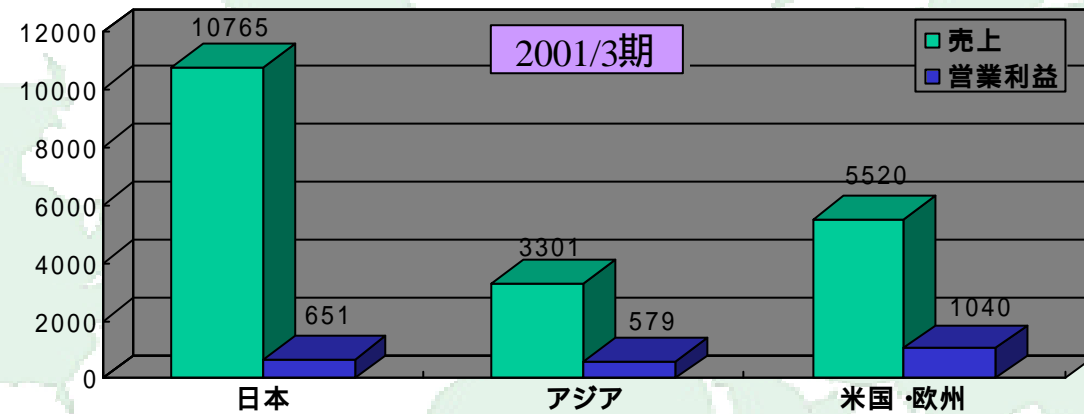
2001/3期





# セグメント情報 (地域別)

(百万円)

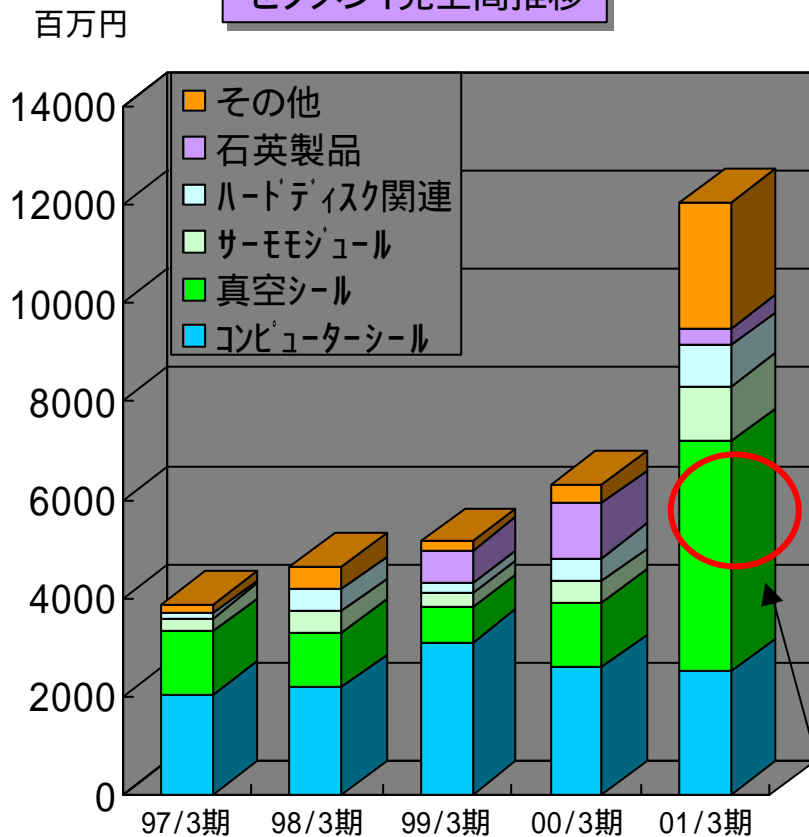






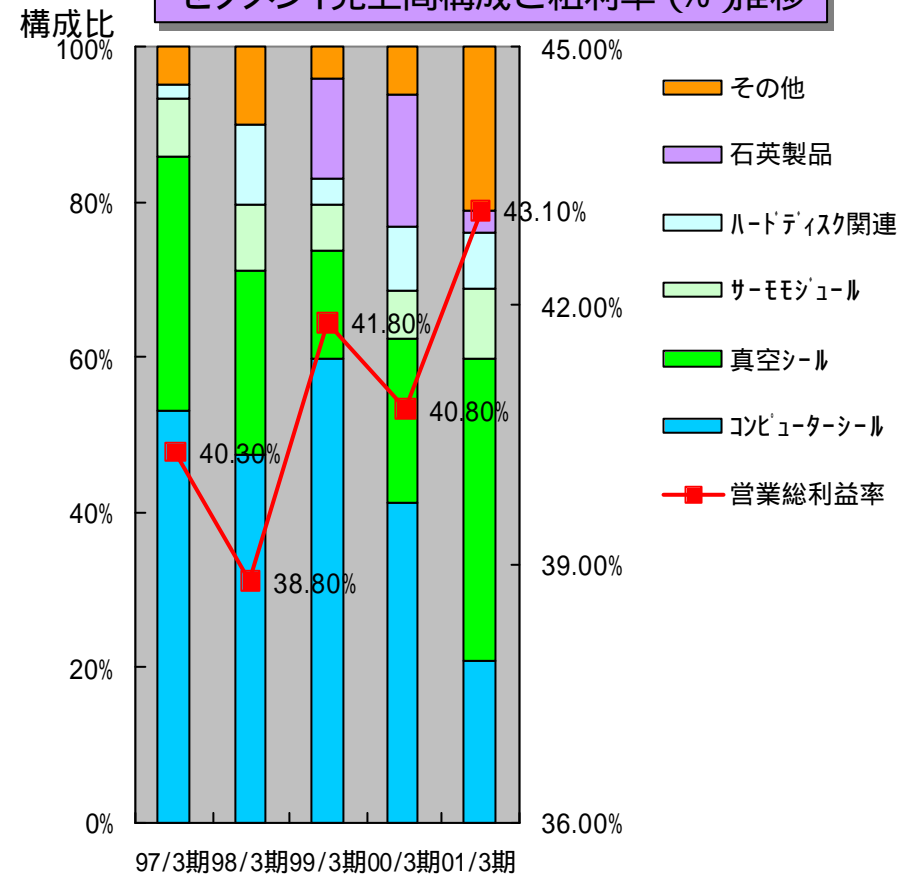
# セグメント情報 (商品別)

セグメント売上高推移



Ferrofluidics Corporation 効果

セグメント売上高構成と粗利率 (%) 推移





# 2001年 3月期決算 (連結BS, CF)

B/S			
(百万円, 切捨て)	2000/3期	2001/3期	対前年比%
流動資産	9,142	11,501	26%
現預金	2,868	2,812	-2%
受取手形/売掛金	3,464	5,138	48%
棚卸資産	1,946	2,419	24%
その他流動資産	864	1,132	31%
有形・無形固定資産	6,327	8,562	35%
投資等	1,604	2,120	32%
総資産	17,346	22,191	28%
流動負債	4,161	7,217	73.4%
買掛金・支払手形	1,291	1,935	49.9%
短期借入(1年以内返済(長))	1,696	2,509	47.9%
未払法人・事業税・消費税	157	762	385.4%
その他流動負債	1,017	2,011	97.7%
社債・長期借入等	4,137	3,856	-6.8%
株主資本	9,044	10,719	18.5%
負債・資本合計	17,346	22,191	2.0%
BPS(円) 株式分割調整済	713.8	833.4	

キャッシュフロー		
(百万円 :切捨て)	2000/3期	2001/3期
営業活動によるキャッシュフロー		
税金等調整前当期純利益	483	2,209
減価償却費	436	720
売上債権の増減	691	1313
棚卸資産の増加額増減	16	199
仕入れ債務の増減	133	407
その他	358	119
営業活動によるキャッシュフロー	19	1943
投資活動によるキャッシュフロー		
有形固定資産の取得	979	1622
投資有価証券の取得	46	806
連結子会社の追加株式取得	1175	470
貸し付けによる支出	1602	-
その他	90	467
投資活動によるキャッシュフロー	3892	2431
フリーキャッシュフロー	3873	488



# 今期業績予想

## 2002年3月期 (連結 $\wedge$ -入) 予想

売上高： 186億円  
經常利益： 18.5億円  
当期利益： 11 億円  
EPS 85円 ROE 9.8%

連単利益倍率  
3.4倍

## 2002年3月期 (単体 $\wedge$ -入) 予想

売上高： 88億円  
經常利益： 6億円  
当期利益： 3.2億円  
EPS 25.5円 ROE:3.2%

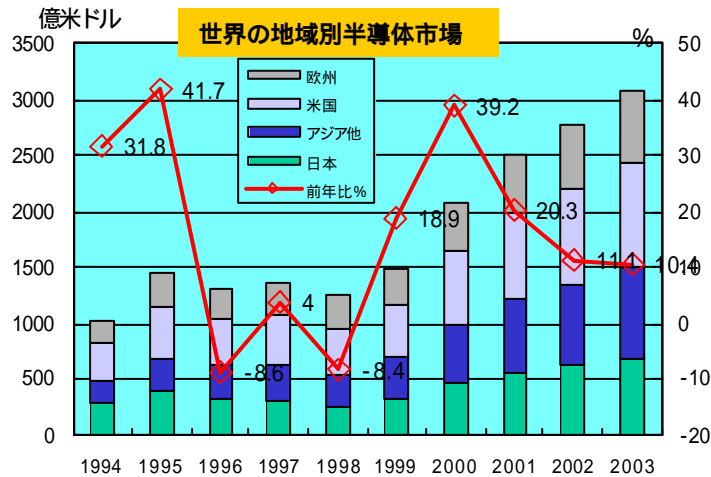


# ビジネス戦略説明



# 市場環境認識

- ✍ 米国の景気低迷による、半導体設備投資需要は  
2001年 :前年比35%-40%の設備投資減  
2002年 :前年比 5%となり後半から底入れ  
長期的には拡大トレンド
- ✍ 光通信関連は前年比 15%見込み (01年)
- ✍ バイオ分野の設備投資は堅調
- ✍ 世界的な製造のアウトソーシングトレンドは長期的に拡大

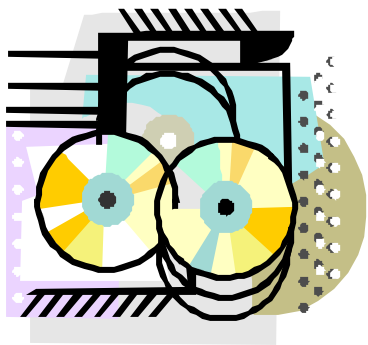


出所 :WSTS(World Semiconductor Trade Statistics)



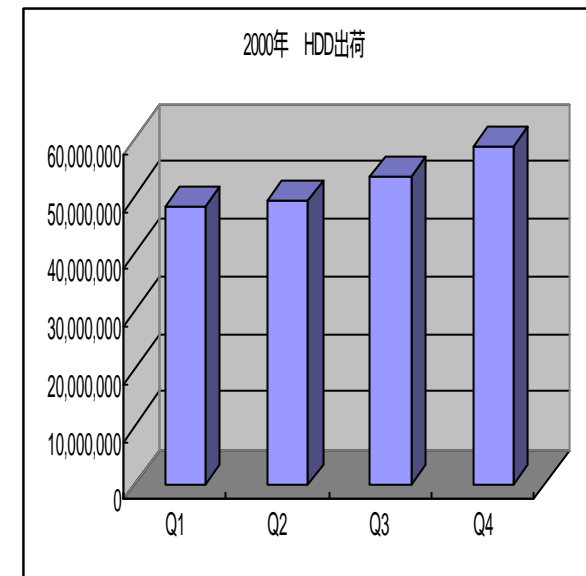
## 2001年HDDの生産動向

✍️ サーバー	23,000K台
✍️ 3.5デスクトップ	144,000K台
✍️ 2.5インチ	30,000K台
計	197,000K台
当社シール出荷量	64,500K台



搭載率 約33%

(前年HDD203,500K台/シール65,900K台)





# 中期経営戦略

## ✍️ グローバル事業展開

- ✍️ 技術・デザイン研究開発、製造、販売のグローバル展開
- ✍️ コア技術開発企業としての更なる強化
- ✍️ CM Sの展開
- ✍️ M & Aによる事業シナジーの追求

## ✍️ コア事業部門

- ✍️ 既存製品事業
- ✍️ CM S事業

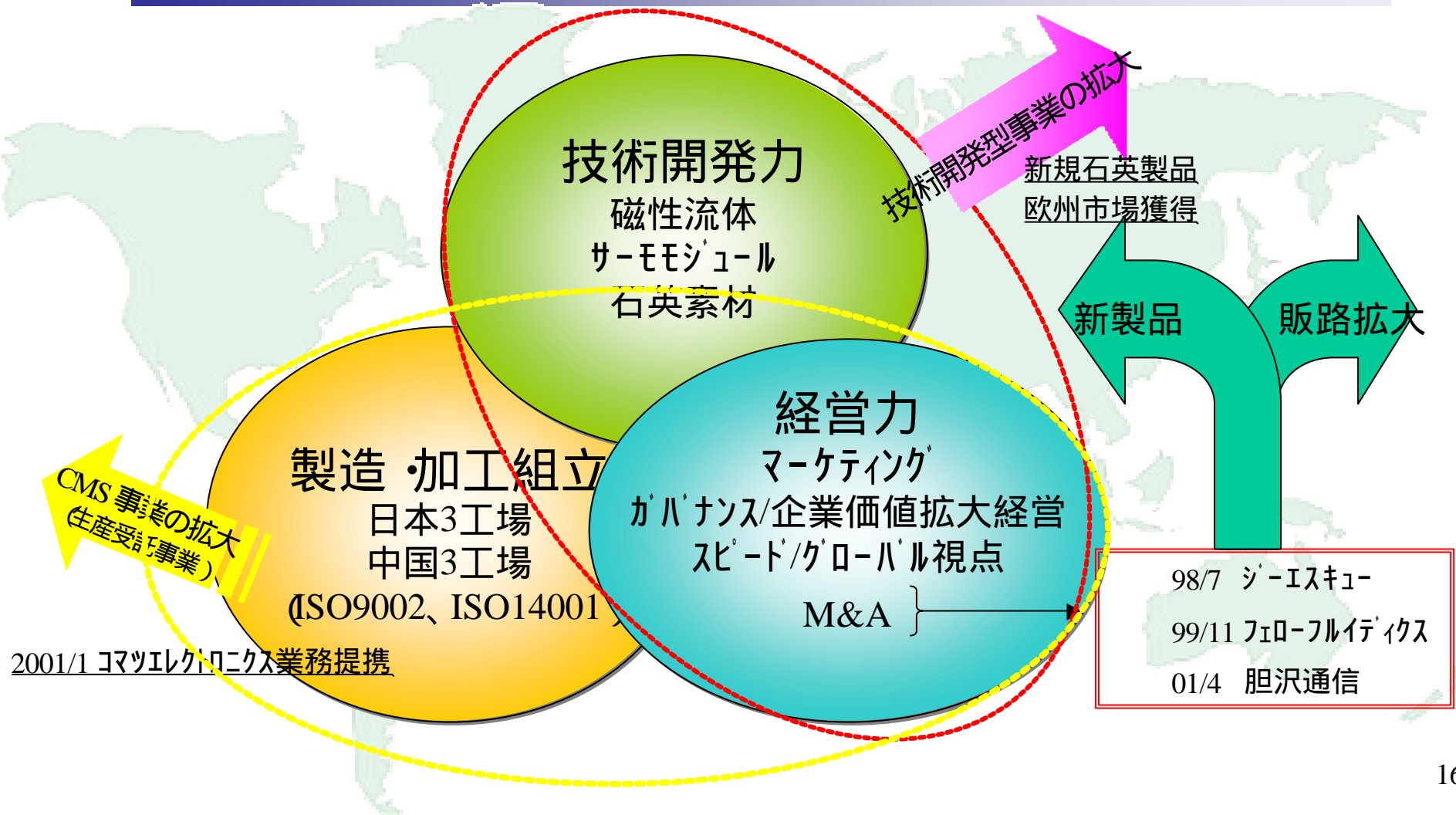
## ✍️ 中期事業計画

- ✍️ 事業拡大に連動した企業価値拡大





# フェローテックの強み

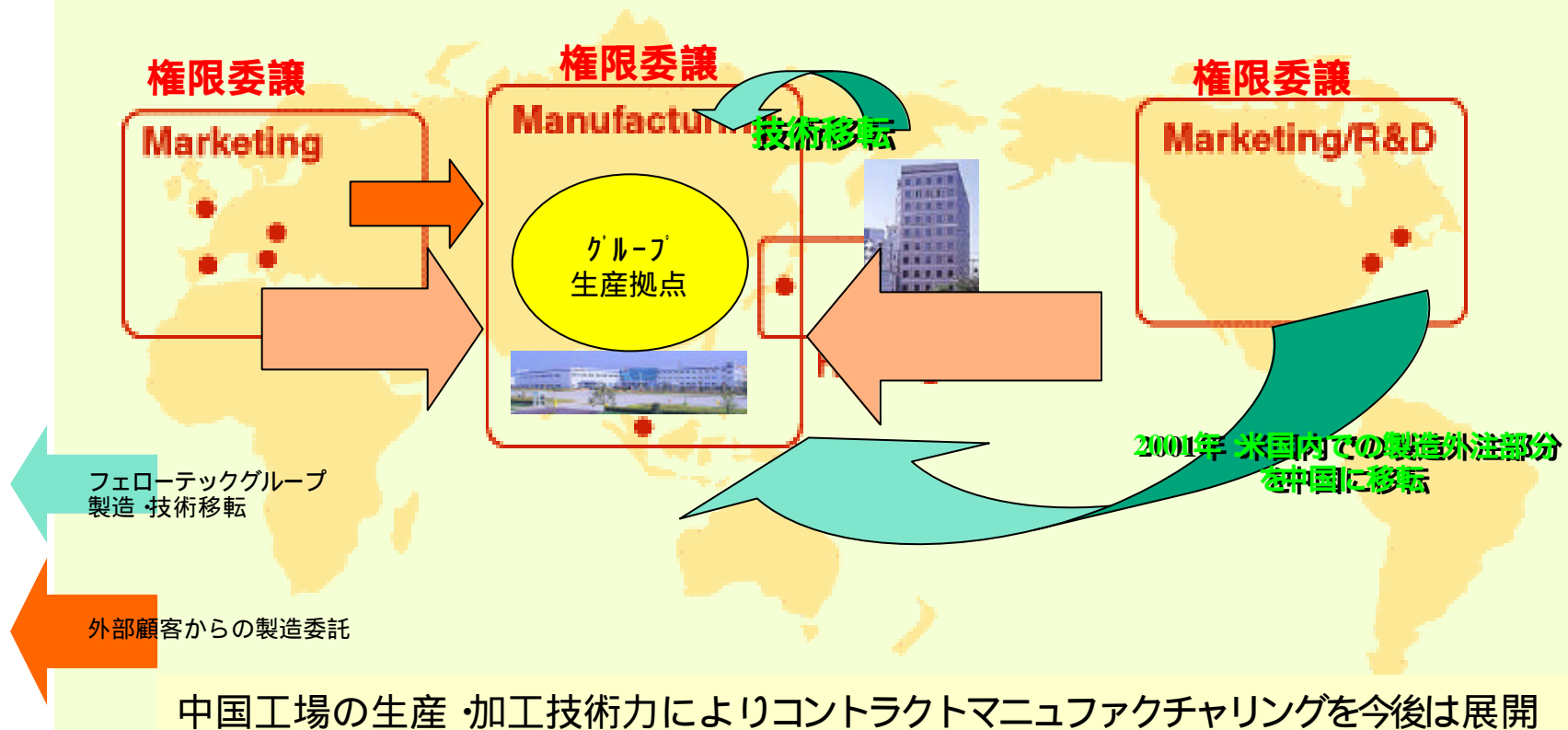






# フェローテックのグローバル展開

スピード経営を目指すため、現地スタッフに大幅な権限移譲





# CM S事業の展開

## ☞ コントラクトマニュファクチャリング (受託生産事業)

- ☞ グループ製品の集中生産拠点 “中国”
- ☞ ISO9002、ISO14001に裏付けられた技術力
  - ☞ 原材料調達 加工 組立製造の一貫受託
- ☞ 半導体装置部品・メカトロニクス各社からの受注
  - ☞ 小松エレクトロニクスの微小モジュール (光通信向け)の量産開始
  - ☞ 米国企業製造アウトソーシングの取り込み



FTは高成長分野の下記製造技術を擁する

- ・サ-モモジュール
- ・石英
- ・電子 通信機器向け技術 加工
- ・バキューム/溶接





# アメリカン社との業務提携

## アメリカン社と業務提携

- 自動車座席用温調装置クライメートコントロールシートのアジア向け製品の100%をフェローテックが製造する

## 付加価値生産の実現

- アメリカン社はサーモジュールの既存販売先  
単なる部品販売先から製品までを受託製造

**付加価値の拡大 (FTへの収益拡大)**





# CMSの新しい力

- ✍️ 装置洗浄事業に参入  
上海工場を拡張中 3500平米  
竣工01/9末予定
- ✍️ 陽極酸化処理設備の投入 (アルマイト処理)  
既存めっき槽の拡張  
稼動01/11予定
- ✍️ ファインセラミックス  
胆沢通信のノウハウと設備を移管  
01/11よりプレ稼動開始





# 中国への移管強化

- ✍ 国内真空シール組立
- ✍ 米国向け真空シール
- ✍ 石英製品
- ✍ 胆沢通信既存事業





# M&A戦略

## ✍️ 基本戦略：

電子部品分野の中で、フェローテックの中・長期的グローバル戦略に強力にシナジーをもたらすM&A

## ✍️ ターゲット企業：

- ✍️ 中国工場で引受ける電子部品向け生産技術を持った企業
  - ✍️ 電子部品向け製造技術をもち、中国に製造移管できる国内外企業
- ✍️ 優秀な技術者のいるルーマニア企業
  - ✍️ 原則100%出資





# フェローテックの製品群

	製品	用途・概要	市場シェア	競合	成長要因
磁性流体製品	コンピュータシール	 HDD用部品	100%	無し	PC、ノート、サーバー 集荷成長
	真空シール	 半導体・液晶製造装置 光学機器向けの製品	90%	無し	使用用途市場の 拡大
サーモモジュール		家電・ジャー・半導体製 造装置、情報機器向け 冷却素子	10%	マーロー メルコア	民生需要の拡大
石英材料		半導体加工メーカー、LC D、フラットTV、ゲーム	15%	信越石英 サンゴバン	デバイスメーカー向け消 耗品需要拡大
新製品 FFB		磁性流体使用の動圧軸 受け	-	-	HDDの検査機、FDB モータ対応





# 主力磁性流体製品 コンピューターシール

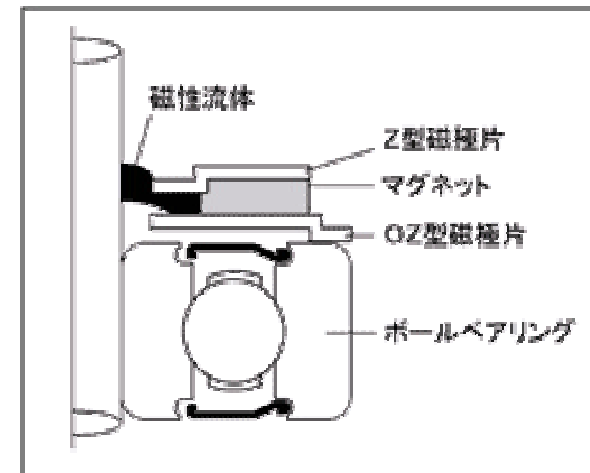
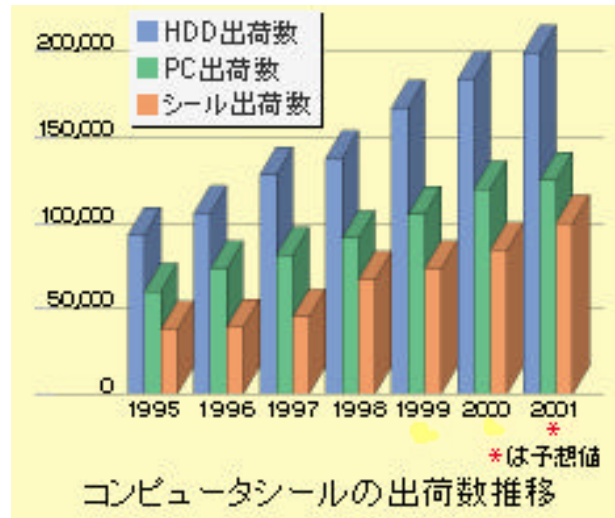
✍️ **コンピューターシール** 市場シェア100%

コンピューターのハードディスクドライブに装着されるシール  
HDDの伸びによる市場の拡大



- 2000年 総集荷量で6400万台強  
装着率約30%
- 2.5inch Note-Pc 2%
- 3.5 inch 5400rpm Desk-Top 13%
- 3.5 inch 7200rpm Desk-Top 75%
- ・Server全体 92%
- ・Server, 10000 rpm超では装着率  
100%

HDD用のBBモーターからFDB  
化への影響は無し。







# 主力磁性流体製品 真空シール

## ✎ 真空シール :市場シェア90%

シャフトの回りを磁性流体で取り囲み  
あらゆる真空加工装置に対応できる。

- ✎ お客様に応じた受注生産
- ✎ 半導体関連
- ✎ 光通信関連需要拡大
- ✎ 今後の用途拡大



## ✎ 米国の元親会社 (Ferro fluidics)買収

- ✎ 北米・欧州の真空シールシェア拡大
- ✎ 米国外注生産部分を中国に移管      グループ利益率拡大

磁性流体に関する米国特許取得状況

特許番号	発行日	発明者	概要
5,656,196	1997.8.12	津田 史郎 高山 真弓	磁性流体が多量の酸化防止剤を含有することが特徴。
5,676,877	1997.10.14	Stefan Borduz	磁性粒子の表面処理に表面改質剤を用いることが特徴。
5,730,893	1997.3.24	John E.Wyman 津田 史郎	エステル油を基油として用いた新規な磁性流体組成に関し、新しい分散剤を用いることが特徴。
5,879,580	1999.3.9	津田 史郎 高山 真弓	上記米国特許5,656,196の権利の範囲を実用上拡大したもの。

# サーモモジュール

✍️ **サーモモジュール** :市場シェア10-15%

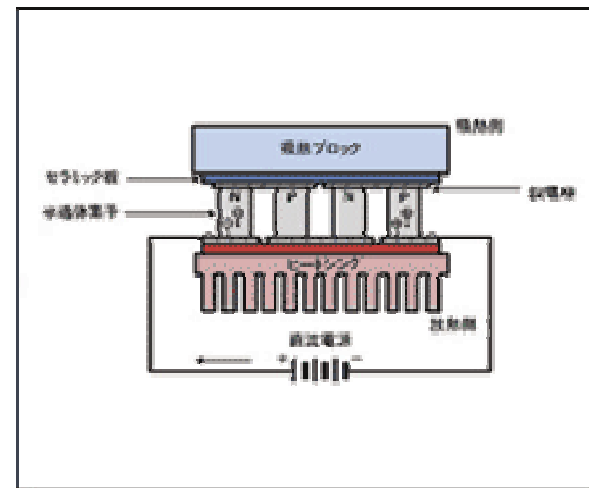
半導体 (熱電) 素子を利用し、直流電流を流すことで、両面の温度差を利用して「温める」「冷やす」



**バイオ・民生需要拡大**

用途事例

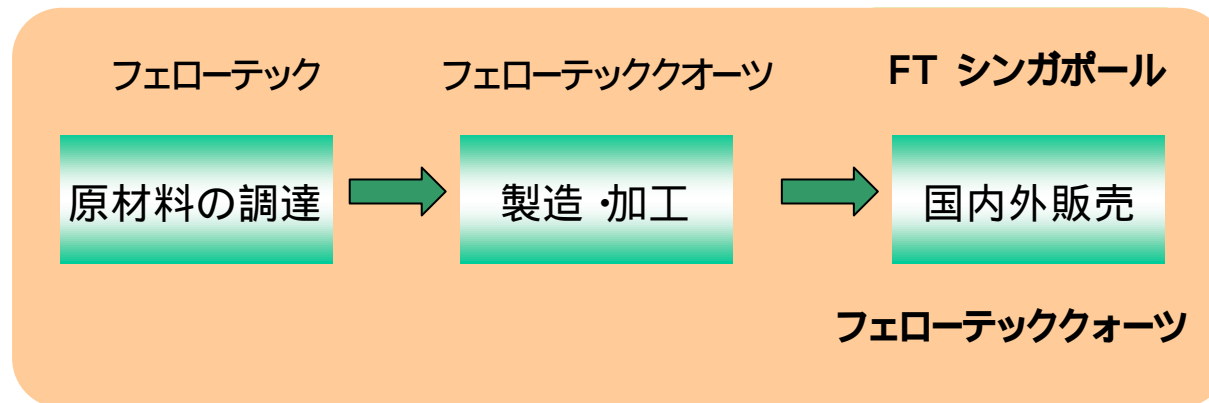
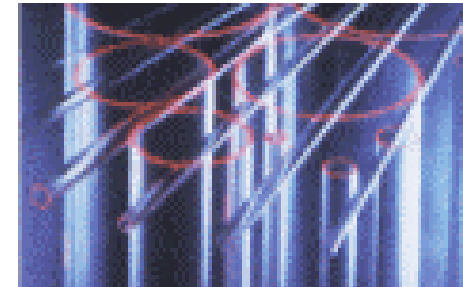
分野	用途
エレクトロニクス分野で	光検出素子の温度制御 レーザーダイオードの温度制御
計測分野で	分光光度計 クロマトグラフィー
半導体製造装置に	半導体用薬液循環濾過装置 シリコンウエハ冷却
バイオ分野に	DNA増幅器 生体試料検査装置
家電分野で	クーラーボックス 小型冷蔵庫 ワインセラー





# 石英製品

- ✍ 98年7月から石英製品事業を展開
- ✍ 石英製品 : 半導体製造プロセスに不可欠な高温作業に耐え、活性ガスとの化学変化をおこさない高純度のシリカガラス製品





# その他新製品

## ✍ FFB :磁性流体使用の動圧軸受け

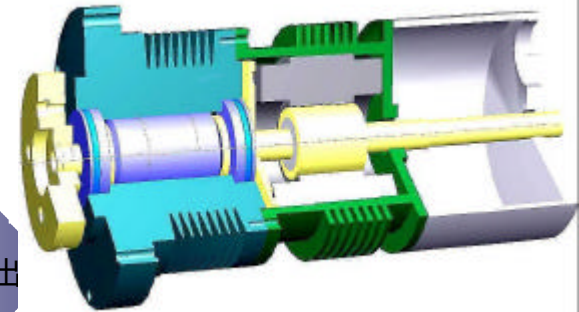
- ✍ FTシンガポールで基礎研究  
(シンガポール政府の認定済み)
- ✍ 2001/1にプロトタイプ出荷

1985年開発着手

1997年シンガポール  
へ開発移管

2000年11月 FFB発表  
検査装置用 FFB開発

2001年1月プロトタイプ出

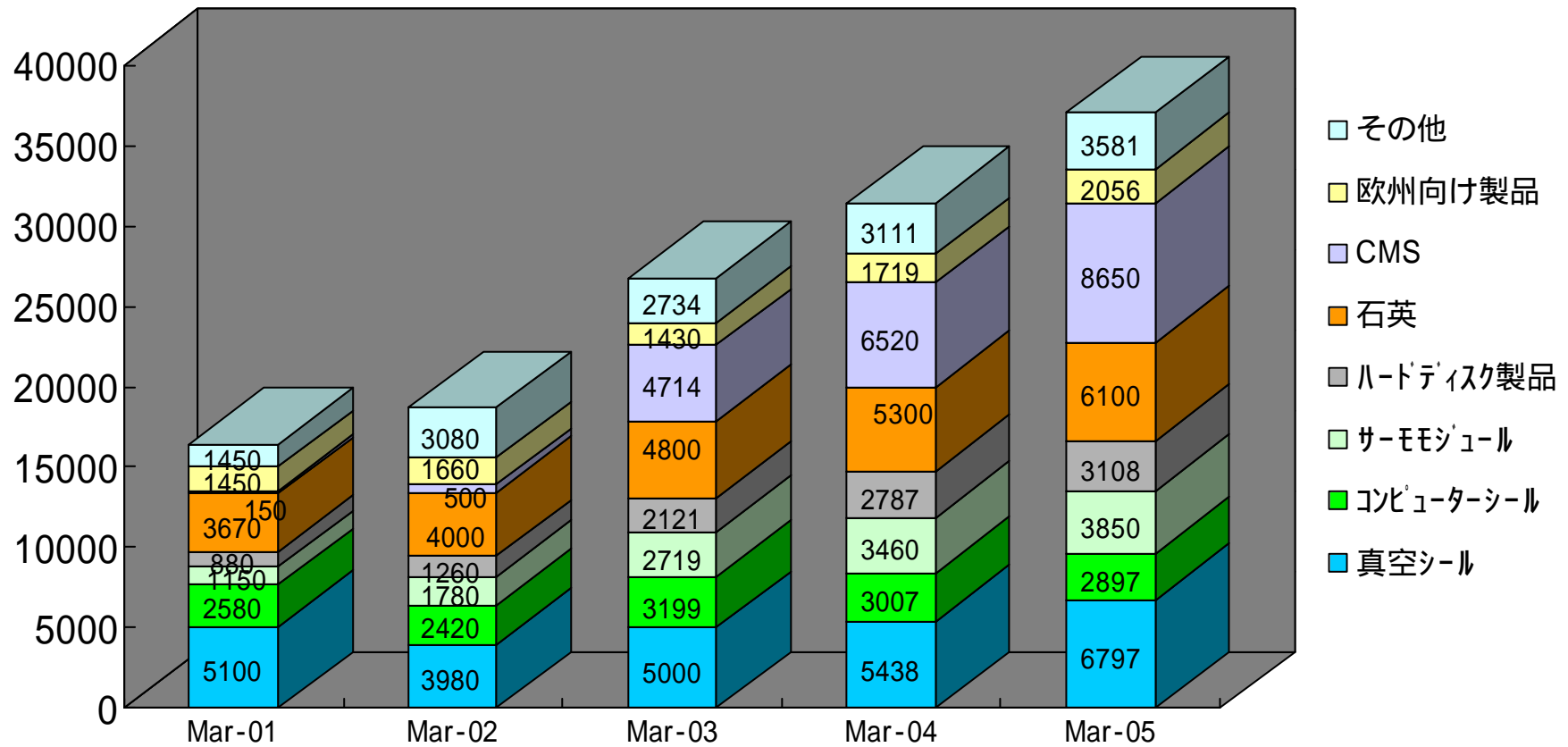


## ✍ 磁性流体技術を使った新たな応用製品の開発



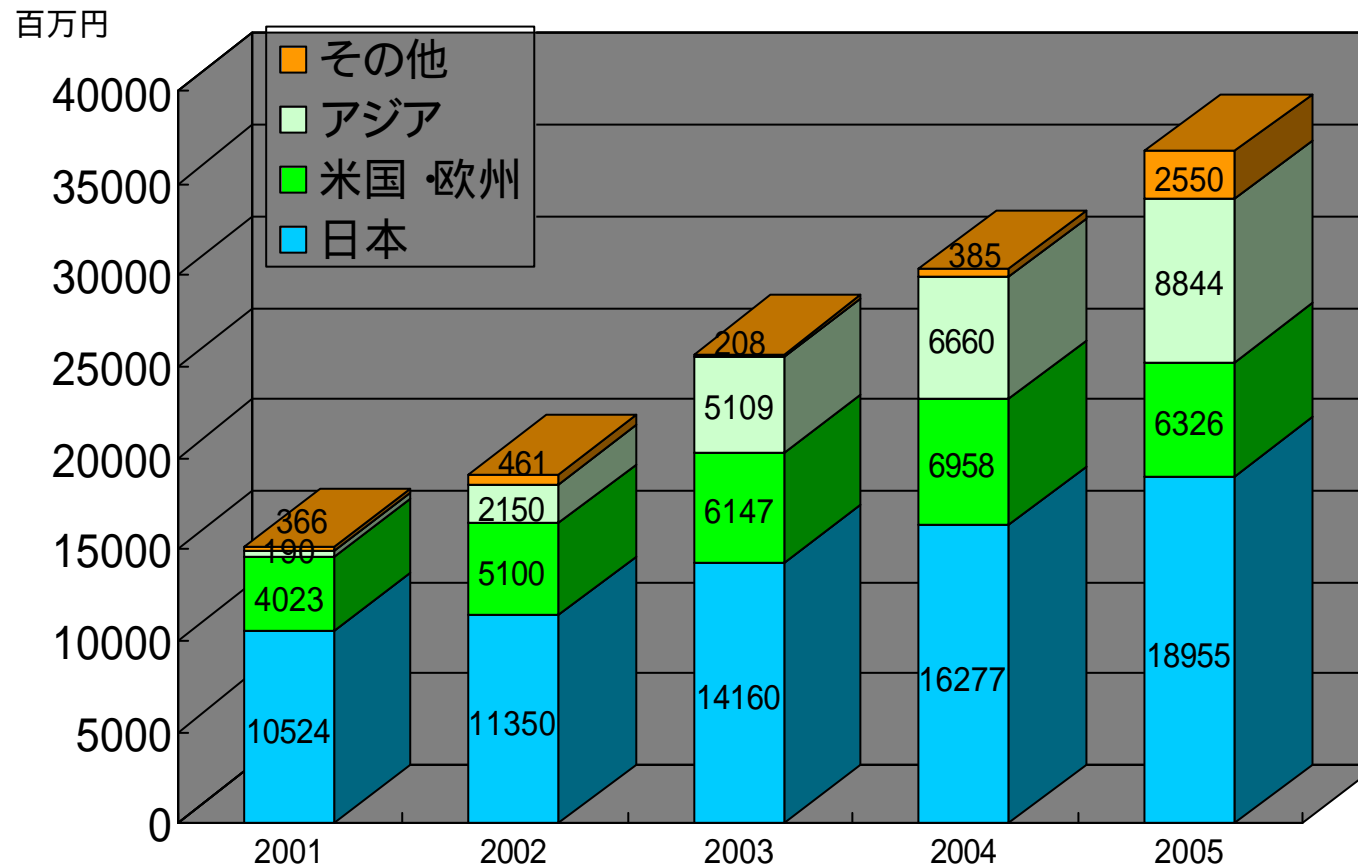
# 中期事業計画 (製品別売上構成)

売上高 (百万円)



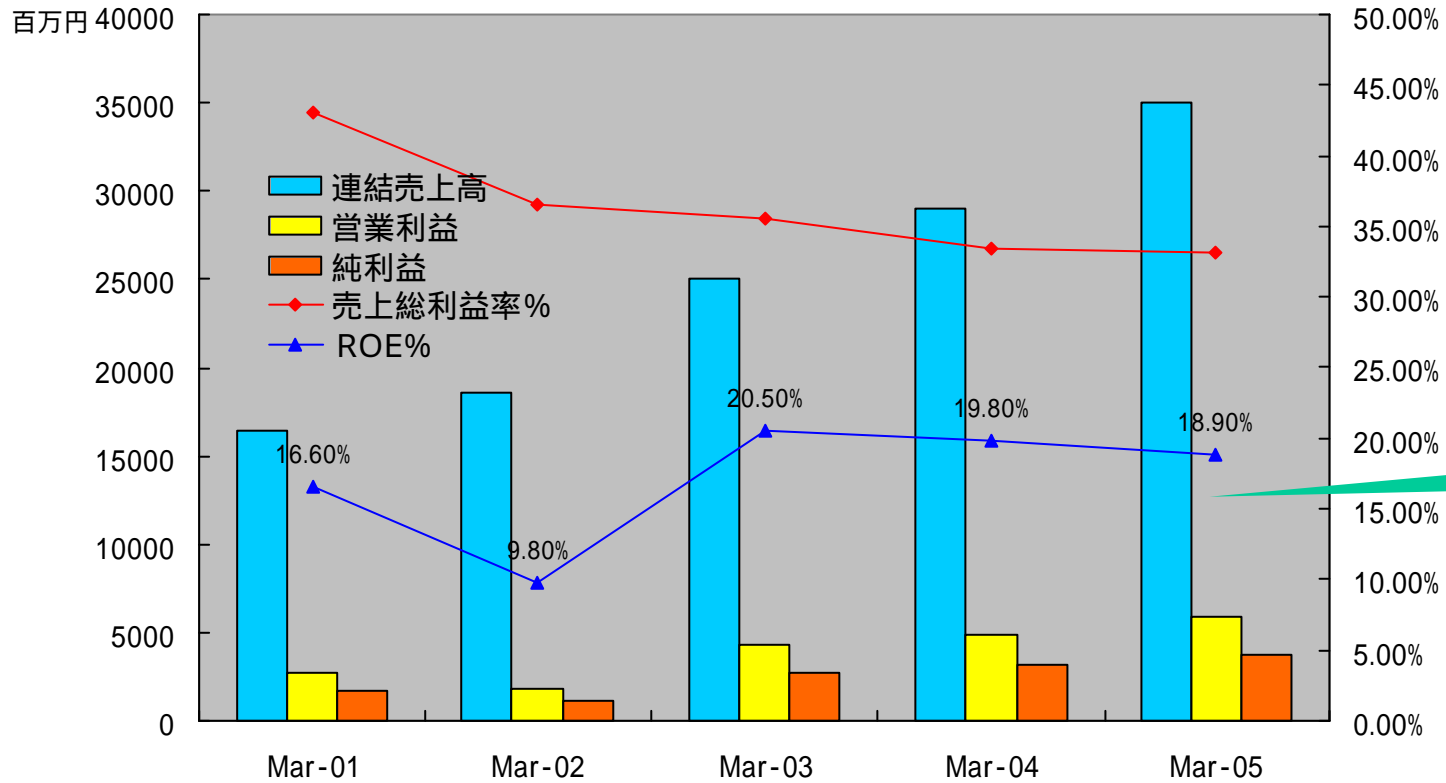


# 中期事業計画 (国別売上高構成)





# 中期事業計画



	Mar-01	前年比%	Mar-02	前年比%	Mar-03	前年比%	Mar-04	前年比%	Mar-05
		売上比率%		売上比率%		売上比率%		売上比率%	
連結売上高	16435	113%	18600	134%	25000	116%	29000	120.7%	35000
売上総利益	7085	100.0%	7088	125.5%	8900	35.6%	9700	33.4%	11600
営業利益	2665	-18.9%	2160	232.4%	4300	17.2%	4900	16.9%	5900
当期利益	1644	-33.3%	1100	245.4%	2700	10.8%	3200	11.0%	3700



# コミットメント

- ✍ グローバルに最適な研究開発、調達、製造、販売の現地化を進め、連結であるフェローテックの企業価値拡大を図る
- ✍ バリュー・ドライバーとなるCMS事業の積極展開
- ✍ Rは継続して積極的に展開

本資料は、01年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は01年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。